

ポスタータイトル：新規脱分化脂肪肉腫細胞株の樹立

発表者氏名 土屋流人<sup>1</sup>

共著者氏名 吉松有紀<sup>1</sup>、野口玲<sup>1</sup>、申育實<sup>1</sup>、清茜<sup>1</sup>、桑田優<sup>1</sup>、佐々木里菜<sup>1</sup>、小野拓也<sup>1</sup>、  
吉田朗彦<sup>2</sup>、川井章<sup>2</sup>、近藤格<sup>1</sup>

発表者および共著者所属

<sup>1</sup> 国立がん研究センター研究所希少がん研究分野

脱分化型脂肪肉腫は希少がんである脂肪肉腫のサブタイプの 1 つであり、*MDM2*、*CDK4* 遺伝子を含む 12 番染色体 q13-15 の増幅が特徴である。臨床的には高い局所再発率と治療抵抗性を示すため、予後はいまだに不良である。治療成績向上のために新規治療法の開発が望まれているが、公的細胞バンクから入手できる脱分化型脂肪肉腫細胞株は存在せず、基礎研究が遅れているという問題点がある。そこで我々は手術検体を用いて脱分化型脂肪肉腫細胞株の樹立を試みた。樹立した細胞株は 12 番染色体 q13-15 の増幅に加え、脱分化型脂肪肉腫において一定の割合で認める 1 番染色体 p32、q23 の増幅を認めた。またスフェロイド形成能、強い浸潤能、マウスにおける腫瘍形成能があり、薬剤スクリーニング試験ではプロテアソーム阻害薬であるボルテゾミブに対する反応性を認めた。本細胞株は脱分化型脂肪肉腫の前臨床研究において有用であると考えられる。

発表者 URL : [https://www.ncc.go.jp/jp/ri/division/rare\\_cancer\\_research/index.html](https://www.ncc.go.jp/jp/ri/division/rare_cancer_research/index.html)

発表者 :

